

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年11月30日

【評価実施概要】

事業所番号	1171000175
法人名	株式会社 メディカ・ジャパン
事業所名	八潮ケアセンターそよ風
所在地	〒340-0816 埼玉県八潮市中央3-1-12 (電話) 048-999-7566

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年11月13日

【情報提供票より】(平成20年10月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年1月4日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 7人, 非常勤 11人, 常勤換算 15.9人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋木造造り
	2 階建ての 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	35,000円+実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日あたり 1,500円			

(4) 利用者の概要(10月27日現在)

利用者人数	16 名	男性	2 名	女性	14 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.1 歳	最低 62 歳	最高 98 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	八潮中央総合病院
---------	----------


【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、介護保険事業所、その他多くの事業を展開している法人が経営するグループホームである。市内の幹線道路に面した2階建ての明るい建物であり、建物の中には1階がデイサービスセンター、2階部分がグループホームになっている。ホーム内は、2階部分を東と西の2ユニットに区切られており、両フロア共に明るく広いスペースでゆったりしている。利用者同士はソファーに座りおしゃべりをしたりしながら交流を深めており、楽しい語らいの時間がゆっくりと流れている。法人内での職員の異動により管理者が交代する中で、利用者が明るく楽しくその人らしい生活を送れるよう、職員はケアの質の向上に向けて日々努力している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価の改善点については全体会議で話し合い、業務を見直すとともに業務の改善に活かせるよう取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>会議で自己評価の各項目について話し合い管理者がまとめている。全職員が日ごろの業務を振り返り、業務内容の見直し及び改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2か月に1回、ホームの行事に合わせて開催されている。グループホームの内容を理解してもらえるように努めているが、民生委員、自治会への呼びかけが困難なため欠席者が多い状況にある。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月「そよ風だより」を家族に送付してホームでの日常生活の様子を報告している。また、利用者に状態の変化が見られた時は、電話やメールで連絡を取り話し合い検討している。なお、家族から意見等があった場合は、関係者で話し合い迅速に対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>基本的には日常的な外出を通して交流を図っており、近隣の商店の人達とは気軽に立ち寄り会話を交わしている。その他、体験学習を受け入れたり、今後の取り組みとしては保育園との交流を計画している。</p>

2. 評価報告書

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の介護手帳が全職員に配布され手帳に書かれた理念を見ながら毎日唱和しているが、事業所独自の地域密着型としての理念は作り上げられていない。	○	住み慣れた地域での暮らしを大切に支援していくことを基本とした当センター独自の理念を職員と話し合い作ることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月2回開催する全体会議の中で理念について話し合い、手帳に記されている理念について読み合わせをし、内容について理解を深め共有を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣のスポーツ店、喫茶店などの店には毎日のように出掛けて行き交流を図っているが、自治会、老人会などの行事、地域活動には参加していない。現在は体験学習を受け入れているほか、今後は保育園との交流を計画している。	○	今後は、地域の中で生活する一員として地域の人々との交流が持てるよう積極的に働きかけていくことを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で課題として挙げられた改善点について全体会議及び運営推進会議で話し合い、今後の業務改善に活かせるよう取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、地域包括支援センター、家族、ボランティアの方をセンターの行事に合わせ地域の人々が参加できるよう心がけ2か月に1回開催しているが、欠席者が多い状況にある。	○	今後は日程調整を行い、民生委員や自治会など地域の人々をはじめ、幅広い立場の人の参加を得て、より活発な会議が開催できるよう検討されることが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当窓口には申請の件で相談し、状況報告に出向いたり市の質問にも対応し連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月「そよ風通信」を個別に作成し家族に送付している。利用者に状態の変化が見られた際は、電話やメールで連絡をとりあい、報告及び相談をしている。金銭管理についても、毎月領収書と出納帳のコピーを送付して報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営に関することやケアに対することで家族から意見などが出た場合は、職員と話し合い迅速に対応するとともに運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動の理由を利用者に説明し、引継ぎをきちんと行い利用者へのダメージが最小限となるよう配慮している。また、本社の会議で現状を説明をして話し合い、非常勤から常勤職員に変更する努力をすることで離職防止に努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の社内研修計画がある。社外研修には交代で全職員が参加できる機会を設け、研修の内容を会議で報告している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	八潮市内の連絡協議会に出席し、グループホームの分科会では情報を交換している。	○	他法人の同業者、関連の事業者などより積極的に交流の機会をもち、相互の活動を通じてサービスの質の向上に取り組むことが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に見学の機会を設け、本人に合うかどうか家族と話し合ってもらったり、デイサービスを利用してもらうことで徐々に馴染んでもらえるよう努力している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「めだか」を飼って、利用者と職員と一緒に育てている。日々の生活の中で一緒に歌を歌ったり、料理や裁縫を教えてもらうなど、共に生活することを楽しみながら学び支えあう関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のかかわりの中でコミュニケーションをとり利用者の意向や希望にそえるよう支援している。意思の疎通が困難な場合は、利用者の行動や仕草などを把握するとともに職員が気づきを多くし、家族から情報得て本人の希望にそよう努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成に際して、本人、家族の意向や希望を聞いて把握し、カンファレンスで話し合い計画に反映させている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>本人や家族と話し合いを持ち意向を聞き、カンファレンス及び月1回の会議でモニタリングを実施している。往診医に状況を報告して見直しを行い計画作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	理美容や通院に付き添うなど、利用者や家族の希望に応じた柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に受診医について説明をして、かかりつけ医または往診医を選択してもらい、今までのかかりつけ医の受診を安心して受けられるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者、家族の希望に対してグループホームとしてどこまで支援出来るかを説明し同意を得ている。社内でもターミナルケアについて研修を開いている。家族とも話し合いを行っており、主治医には報告・相談をしながら連携を密にして指示を受けている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ミーティングや申し送り時に、利用者が日々の生活の中で尊厳ある生活を送れるように意識の向上を図り、支援のあり方について話し合い確認し、言葉かけや対応に配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課表を作成しているが、日課表に捉われることなくゆったりとした過ごし方が出来るよう、本人の気持ちを大切に希望にそった支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食については、利用者の希望によりメニューを選択できる。日曜日には、利用者とメニューについて相談し、話し合っで決めている。また、利用者と一緒に買い物に行き、調理や盛り付けも共に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる。利用者が入りたい日、希望する時間に入ってもらい、一人ひとりに合わせた入浴支援をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者と近くのスーパーに買い物に行き、調理師だった利用者の経験を活かし食材選びと調理の腕前を發揮してもらっている。その他、読書の好きな利用者や近くの本屋と一緒に出かけたり、歌の好きな利用者とは歌を歌うなど、役割や楽しみごとを持てるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、車での遠出、近所の喫茶店までの外出など、利用者一人ひとりの希望に応じて戸外に出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階の玄関を出るとすぐ前が幹線道路で交通量が激しいため玄関には施錠してある。東、西の両ユニットそれぞれの入り口のドアは常時ではないが施錠してある。家族にはその旨説明をし了解を得ている。	○	利用者へのケアの工夫をし、鍵をかけない自由な暮らしの支援についてハード面、ソフト面から検討することが期待される。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署立会いのもと避難訓練、消火訓練を年2回実施しており、消火器の使用方法についても訓練している。	○	さらに、近隣や地域の人々への参加、協力を呼びかけ、協力体制を確立することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事量、水分量を毎日チェック表に記入し、状態の把握や変化の確認をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者はユニット間を自由に行き来し会話している。ソファも利用者が座りやすくゆったり出来る場所に設置しており、寛げる共用の場所となっている。フロアのテーブルの上には、季節が感じられる花や季節の実がなった木を飾るなど、居心地の良い空間となるよう心がけている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具、食器、小物などが居室に使いやすく配置され、利用者が自分らしい落ち着いた空間で安心して過ごせるよう配慮されている。		